

日高町地域公共交通計画【概要版】

1. 計画策定の主旨

■日高地域を取り巻く公共交通環境

- ・人口減少・少子高齢化等による利用客の減少
- ・J R 日高本線の廃線による厳しさの増大

■町営バス及び各種送迎交通の合理化と利便性の向上

- ・路線バスに加え、町営バス 9 路線、患者送迎車やスクールバス等送迎バスを維持するために大きな財政負担を要している状況

■日高地域広域公共バスとの接続・役割分担

- ・札幌市と浦河町を結ぶ高速ペガサス号との接続
- ・苫小牧と新ひだか町を結ぶ日高沿岸線との接続
- ・門別地区と日高地区を結ぶ日高縦貫線及び富内線との役割分担

■法制度の状況

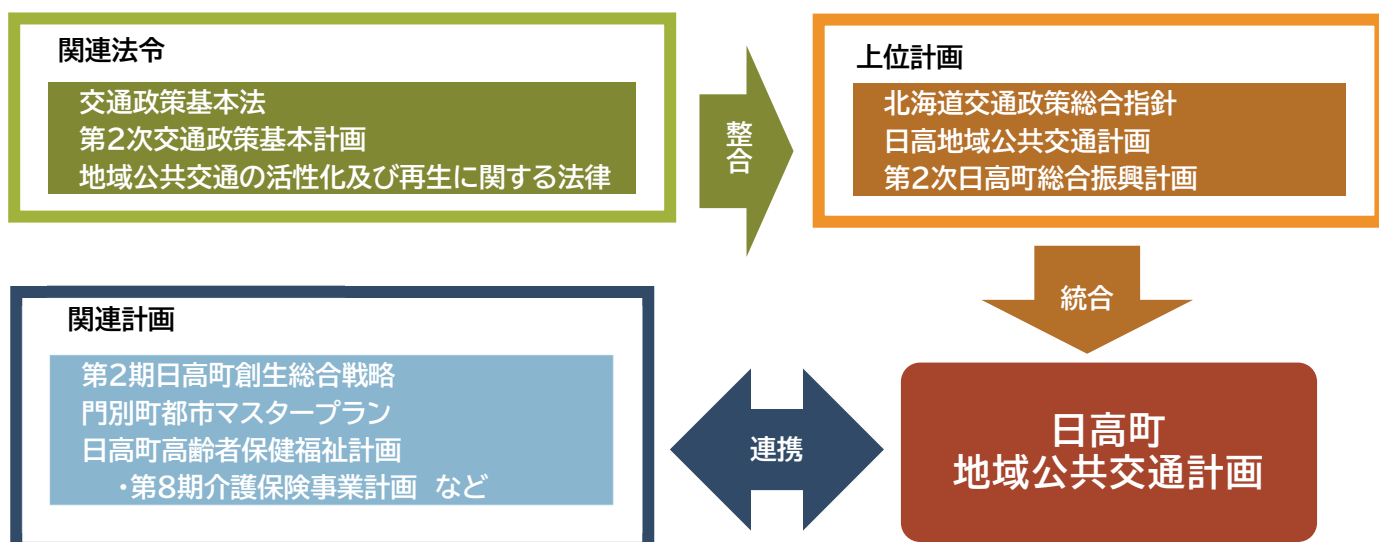
- ・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律を令和 2 年 11 施行し、全ての地方公共団体において地域公共交通計画の策定を努力義務化

以上を踏まえ、町内の交通体系の見直しと確保・維持のために、地域のあるべき姿を地域の移動手段の観点からまとめた「日高町地域公共交通計画」を策定する。

3. 計画期間

令和 6 年度～令和 10 年度の 5 年間

4. 計画の位置づけ



2. 計画区域



5. 地域公共交通の課題

問題点	課題
○町内公共交通 <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス、町営バス、無料送迎バスが重複して運行することによる運行費用の拡大 ・老年人口の減少を含む人口減少や乗用車保有率の増加等による輸送人数の減少 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送人数が少ない交通手段や重複している交通手段の統合・一元化 ・運転手不足の解消による運行維持と利用促進策の検討 等
○広域交通・地域間交通 <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスを維持するための本町負担とバス会社負担の増加 ・様々な運行系統の存在と収支率の変動 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実態に合わせたバス路線の再編・統合 ・地域間幹線系統及び広域生活交通路線の検討 等

基本理念

快適な生活環境を確保するために、子どもや高齢者など交通弱者にとって利便性の高い、持続可能な地域公共交通体系を再構築する

6. 基本的な方針・目標

基本方針1 広域交通・地域間交通の維持・確保 ・日高地域公共交通計画と整合を図ることにより、シームレスな公共交通ネットワークの構築を目指す。 ・地域住民等の広域的な移動を支える広域交通を維持・確保する。 ・広域交通及び生活圈交通相互の接続による利便性の向上と、高齢者を含めた交通弱者対策を行う。 ・地域全体で公共交通を支える環境づくりや人材を育成・確保する。	目標 ・広域交通 ・地域間交通のネットワーク形成	指標 I ・日高地域公共交通と整合を図る
--	---------------------------------------	-------------------------

基本方針2 町内交通体系の再構築 ・利用ニーズが多い区域運行によるデマンド交通等を主とした輸送手段の一元化等を目指すことにより、高齢者等交通弱者の快適な生活環境を確保する。 ・様々な交通手段を束ねるデマンド交通等の運行を検討する。 ・デマンド交通を補完するスクールバスの一般混乗を検討する。	目標 ・町内公共交通のネットワーク形成	指標 I ・輸送人数 : 59,347 人
	指標 II ・収支率 : 22.1%	
	指標 III ・行政負担額 : 78,842 千円	

基本方針3 公共交通利用活性化策の推進 ・モビリティマネジメントによる公共交通利用促進及び町内公共交通の維持・確保に必要な運転手を確保するため、以下のとおり基本方針を定める。 ・モビリティマネジメントにより公共交通の利用を促進する。 ・町内公共交通の維持・確保に必要な運転手を確保する。	目標 ・公共交通運転手確保と利用促進	指標 I ・運転手確保に向けた周知活動の実施回数 : 年1回以上
	指標 II ・利用促進に向けての周知活動の実施回数 : 年1回以上	

7. 目標を達成するための施策・事業

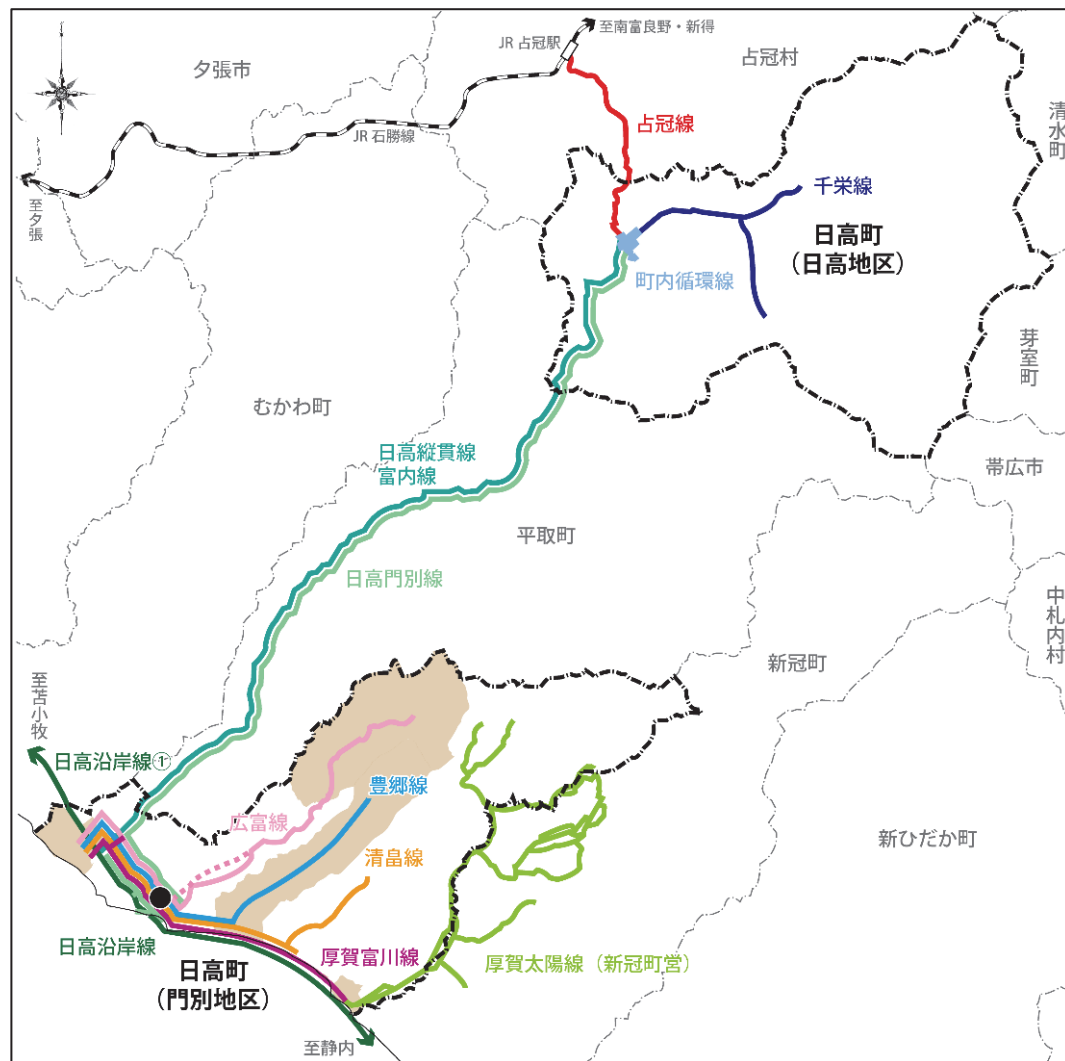
目標1 広域交通・地域間交通のネットワーク形成		
①広域交通及び地域間交通の維持・確保と最適化の検討・実施	広域交通と地域間交通の維持・確保と、これを継続するための路線の最適化	国、北海道、道南バス(株)、沿線市町
②来訪者の公共交通利用の促進に向けた観光客誘客	公共交通と観光資源との連携方策や記念切符の製作・販売、特産品等の周知による管内への誘客促進等の検討	国、北海道、道南バス(株)、沿線市町

目標2 町内公共交通のネットワーク形成		
①現計画による運行の維持	町内公共交通体系の再構築まで、一部バス路線を除く暫定的な運行の維持	日高町(町内交通事業者)
②最適化による町内公共交通体系の再構築(デマンド交通等の運行検討)	門別地区は区域運行のデマンド交通、日高地区は市街地循環バスと組み合わせた予約運行による主要な町内公共交通を検討	日高町、町内交通事業者
②最適化による町内公共交通体系の再構築(スクールバス一般混乗の検討)	財源的に有利なスクールバスの維持・確保と、空席を活用した一般の方の補完的な利用を検討	日高町、町内交通事業者

目標3 公共交通運転手確保と利用促進		
①かきこい公共交通の使い方の周知	車と交通安全・環境・健康・維持費等をテーマとしたモビリティマネジメントの実施を検討	日高町
②北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度の周知	高町内における協賛店の募集と既存の取組をPRして免許証返納を促進	北海道、日高町
③本町独自の運転免許自主返納特典制度の検討	運転免許の返納と合わせた利用者負担金の軽減など免許証返納助成制度の導入を検討	日高町
④利用案内パンフレットの作成	運行時刻や接続時間を把握できる総合的なバスマップの作成を検討	日高町、道南バス(株)
⑤公共交通乗り方教室の開催	バス体験乗車を総合的な学習授業に取り入れや、地域住民へ路線バスやデマンド交通の乗り方教室の開催	日高町、道南バス(株)
⑥住民の地元交通事業者への雇用促進	地域住民を対象に公共交通の運転手を広く募集し、空白地輸送の講習等の支援を検討	日高町
⑦乗継拠点の利便性向上	現在進められている富川市街地複合拠点施設の整備を推進	日高町

公共交通の機能分類と性格・役割 現計画

機能	性格・役割
広域交通・地域間交通 ・「苫小牧～静内間」 日高沿岸線①、日高沿岸線 ・「日高ターミナル～富川間」 日高縦貫線、富内線	・中核都市である苫小牧市と各市町を結ぶ広域的なネットワーク ・地域中心都市である新ひだか町と本町を結ぶ広域的なネットワーク ・通勤、通学、通院、買い物、観光など多様な目的に対応・本町及び平取町を運行する地域間ネットワーク
生活圏交通 ・広富線、豊郷線、千栄線・患者輸送サービス ・清島線、厚賀富川線・厚賀太陽線（新冠町営） ・町内循環線、占冠線	・門別地区内、日高地区内、あるいは門別地区と日高地区を結ぶ生活圏ネットワーク ・主に通学、通院、買い物などの生活交通に対応と、観光交通に対応
乗り継ぎ拠点 ・富川市街地拠点複合施設	・広域交通・地域間交通・生活圏交通どうしの乗り継ぎ拠点 ・拠点施設整備により、新たな集客・賑わいの核として、町民や来訪者の交流空間として形成 ・情報発信機能の強化により、町内外の周遊へとつなげる



公共交通の機能分類と性格・役割 最適化

機能	性格・役割
広域交通・地域間交通 ・「苫小牧～静内間」 日高沿岸線① 日高沿岸線・町内循環線・平取・富川・門別連絡交通	・中核都市である苫小牧市と各市町を結ぶ広域的なネットワーク ・地域中心都市である新ひだか町と本町を結ぶ広域的なネットワーク ・通勤、通学、通院、買い物、観光など多様な目的に対応・本町及び平取町を運行する地域間ネットワーク
生活圏交通 【デマンド交通等】 ・富川・門別本町方面・広富・豊郷・清島方面 ・厚賀・太陽・賀張方面・占冠方面・町内循環線 ・千栄方面・町内循環線 【スクールバス一般混乗】 ・門別西線、門別中央線、平松駒丘線、福満線、 緑ヶ丘線、広富線、豊郷線、清島線、賀張線、里平線 ・千栄線、三岩線	・門別地区内、日高地区内、あるいは門別地区と日高地区を結ぶ生活圏ネットワーク ・主に通学、通院、買い物などの生活交通に対応と、観光交通に対応
乗り継ぎ拠点 ・富川市街地拠点複合施設	・広域交通・地域間交通・生活圏交通どうしの乗り継ぎ拠点 ・拠点施設整備により、新たな集客・賑わいの核として、町民や来訪者の交流空間として形成 ・情報発信機能の強化により、町内外の周遊へとつなげる

